

第02号 | 2012年12月20日発行

2012年11月17日（土）に本年度第2回目の「子育てサブリ」を実施しました！

准教授 鈴木崇之



「子育てサブリ」は、「子育て支援による地域貢献」と「高度な子育て支援ができる専門職の養成」を目指す東洋大学ライフデザイン学部の子育て支援事業です。2006年度からスタートし、今年度で7年目となります。

2012年11月17日（土）に実施された本年度第2回目の「子育てサブリ」は、健康スポーツ学科の鈴木智子講師による「エアロビクス」を中心に、保護者が子育てに関する様々な思いを語る「語りませんか？子育てのこと」などを実施しました。保護者がそういったプログラムに参加する間、子ども支援学専攻の学生たちが子ども達の保育を行いました。すでに数回の実習経験を経て、上手に初対面の子どもとコミュニケーションをとる上級生もいれば、赤ちゃんを抱くのも初めてという下級生まで様々です。

学生たちは、このような経験の中で、保育に関する実践的な経験を積むと共に、子育て支援の重要性を学んでいきます。

参加者のみなさんからは、次の感想が寄せられました。



- ・普段、体を動かす機会が少ないので、エアロビで久しぶりに体を動かせて、よかったです。その後の、参加者との話では、色々な話が聞けて、よかったです。
- ・普段から預けたりすることができないので、今日は少しでも離れてゆっくりすることができました。娘も、お兄さんやお姉さんに遊んでもらえて、とても楽しそうだったし、他のママさんや先生とお話できて、私もリフレッシュできました。
- ・たくさんのおもちゃがあって子どもがとても楽しそうでした。学生さんもいろいろ声をかけて遊んでくれて良かった。エアロビで体を動かすのが久しぶりで自分自身も楽しめて良かった。
- ・子どもを保育してもらいながら体を動かせて、とても気持ちよかったです。

この後、12/15（土）には救急処置勉強会を中心とした「子育てサブリ」を開催しました。今年度の子育てサブリは無事終了となりました。参加、協力いただきました方々、ありがとうございました。